



合格体験記



工学部 機械工学科

氏名 野田 雅

【合格した自治体（校種・教科・受験形態）／私立学校（教科・任用形態）】

広島県（中学校・技術・大学推薦）

① いつから勉強した？また、どんな勉強から始めた？

3年の後期から少しずつ問題にふれるようにし、本腰を入れて勉強し始めたのは春休みに入ってからです。基本的には過去問7年間分を何回も解くという勉強方法でした。過去問を解くことで傾向を知ったり、わからない問題がでてくるので、そのつど教科書等で確認をして定着させていきました。

実際に試験を受けて感じたことは、過去問は10年分は必要だということです。試験で見たことあるなと感じた問題が10年前に類似の問題がでていたということがあったので、ぜひ、過去問は10年分しっかりと勉強することをお勧めします。

② あなたのオススメの教材は？

- ・各自治体の過去問

自分が受ける自治体の過去問以外を使用するのも幅広い問題にふれるという点ではよいですが、傾向が自治体によって様々なので、良し悪しがあるかもしれません。

- ・教科書に対応した問題集

特に技術の問題は少ないため、中学生が実際に授業で使用する問題集が一番良いと思います。ネットで検索すると普通に購入できるのでお手軽に入手できます。

③ とっておきの勉強法は？また、1日に何時間勉強していた？

勉強して知ったことを友達に伝えることで自分の頭の中を整理することがいいと思います。その時の会話の内容と一緒に覚えていたりするので、私は覚えやすかったです。

正直やってない日もありましたし、1日中勉強していた日もありました。1時間したら5分休憩を絶対として、場所も変えながらしていました。

④ 息抜きの方法は？くじけそうになったときは？

友達や後輩、先生とたわいのない話をして息抜きをしていました。教員採用試験を受ける仲間は少ないけど、院試や公務員試験を受ける仲間はいたので、大変さを共有することで頑張っていました。

⑤ どの自治体／私立学校を受験した？

広島県のみ

⑥ ⑤を踏まえて、それぞれの自治体／私立の面接や筆記（専門含む）をどのように対策していた？

一次試験： 過去問をもとに傾向を把握して、確実に出ている分野や得意分野から点数が取れるようにしていきました。広島県は学習指導要領の各教科の目標を出していたので、そこは確実におさえようと勉強しました。

二次試験： 模擬授業に関しては、友達や教職の仲間と模擬授業をしあい、アドバイスをしあうことで場馴れをしていました。また、指導案は教科書の適当な場所を開き、そのページの指導案を30分で書くトレーニングを一日一枚以上行っていました。

面接に関しては、教育実習でお世話になった先生や大学の先生にお時間をいただき、どんなことを聞かれるのか、どんな内容を知って、考えておけばよいのかを教えていただき、ある程度自分の意見を考えることをしていました。あとははきはき、笑顔で話すことを忘れずに頑張りました。

実技試験に関しては、過去問を3種類ぐらいピックアップして、実際に何回か作ってみました。機材のそろった実習室があるので、学校をフル活用して、いろんな先生に頼らせてもらいました。完成がゴールではないので、道具の使い方や判断を間違えないように、何回か実際にやってみるのがいいと思います。

⑦ 授業（ゼミも含む）や就活、教員採用試験の兼ね合いは？

ゼミはグループでの研究だったため、採用試験までは勉強に専念させてもらいました。その分試験が終わったらすぐに研究に取り組み、仲間に追いつこうと努力しました。就活は全くしていません。

⑧ アルバイトやボランティアはどうしていた？

アルバイトは教職には関係のない飲食店でしたが、1年の初めから卒業までやりきりました。

ボランティアはクリーンライフボランティアに所属し、子供とかかわりのあるボランティアを選んで参加したり、オープンキャンパスや献血など学校内で行われているものに積極的に参加していました。

⑨ 大学生活の中でやっておいた方がいいことは？

自分が興味を持ったことに関しては、やる前からあきらめることは絶対にせず、挑戦を試みてほしいです。自分自身、大学生の中で考えが変わり、教員になることを決意したので、いろんな経験をしたり、いろんな考えの人と話すことで自分の視野を広げてみたらいいと思います。

⑩ 教職ラボの活用法は？

先輩の生の声を聴けたり、一緒に教員を目指す仲間と模擬授業をしてアドバイスをしあったりと、モチベーションを高めるにはとても良い環境だと思います。

⑪ 夢に突き進んでいく後輩たちへメッセージ！！

しんどい時、モチベーションが上がらない時あると思います。そんな時、支えになってくれるのはそれぞれで頑張っている仲間です。しんどい時こそ友達に会っている話をして、笑いあえるのが一番だと思います。大学生活もしっかりと楽しみながら乗り切ってください！応援しています！！